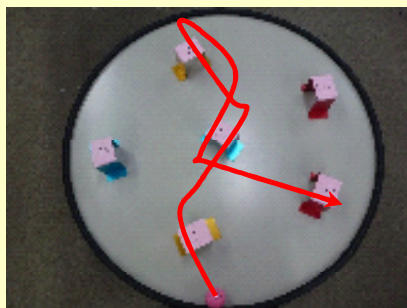


遊び方の事例1

●ゲートボールゲーム

ボード上にゲートを数個置き、2~3人が設置したゲートボールを手で通過させるシンプルな遊びです。身体に負担なく楽しくできるゲームです。ゲートに番号を書いて、順番にボールを通すことで、より盛り上がります。例えば、1~6まで番号を振ったゲートに順番通りピンポン玉を通す時間を競います。



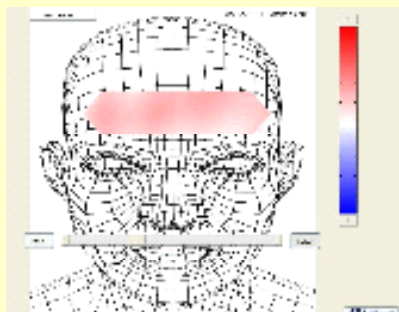
●必要な道具

- ・ピンポン玉(別売)
- ・ゲート(別売)
- ・ゴール(別売)

※ゲートやゴールを自作することも楽しいです！

●脳の血流量測定結果

ゲーム開始時は白色の状態です。赤色になるほど前頭葉の血流量が増えていることがわかります。



幼稚園・保育園の先生方へ

- 室内での一人遊びが多くなり、児童の協調性の低下傾向が見られます。
- 子供の情操教育には、教育プログラム充実が求められています。

介護福祉施設や高齢者支援 NPOの方へ

- 加齢や障害による運動機能低下や認知症の高齢者が増えています。
- 介護保険法では「予防介護」が保険対象となり、脳の活性化のためのレクリエーションが求められています。

発達相談支援センターや精神保健福祉センターの方へ

- ひきこもりの若者や社会適用性が低い若者が増えています。
- 発達障害者向けのグループワークのための用具が求められています。

その解決策として、

「万脳ボード」は『レクリエーション機能』+『脳の活性化』が期待できるツールとして活用できます。

問い合わせ先

佐々木工機 株式会社

〒213-0006

神奈川県川崎市高津区下野毛 1-9-33

TEL: 044(844)0338

FAX: 044(822)0922

E-mail info@sasaki-koki.co.jp

レクリエーション機器 「万脳ボード」 特許取得済み！



レクリエーション機器「万脳ボード」とは、「みんなで楽しみながら健康を増進するレクリエーション機器」です。

子供や高齢者がグループで手や腕を使って、絵を描いたり、ゲームができるレクリエーション用具です。

レクリエーションを楽しみながら手や腕を動かす事で脳の活性化が期待できるユニバーサルデザインの運動器具です。

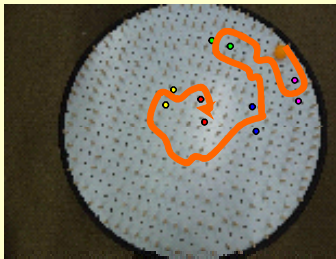
 **SASAKI KOKI**

URL: <http://www.sasaki-koki.co.jp>

遊び方の事例2

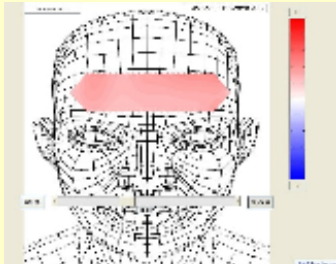
●グルグル迷路、

有孔ボード上にペグで迷路をつくります。ピンポン玉を迷路の中を転がし、ゴールするまでの時間を競います。どんな形の迷路にするかは自由に決まられます。迷路をつくるのも楽しめます。



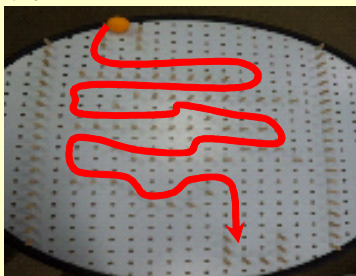
●脳の血流量測定結果

ゲーム開始時は白色の状態です。赤色になるほど前頭葉の血流量が増えていることがわかります。



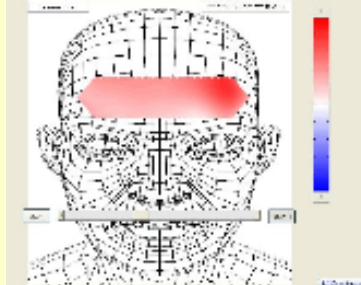
●シーソーゲーム

有孔ボード上にペグでピンポン玉がジグザグに転がるような形状を作ります。ピンポン玉をシーソーの動きで転がし、ゴールするまでの時間を競います。



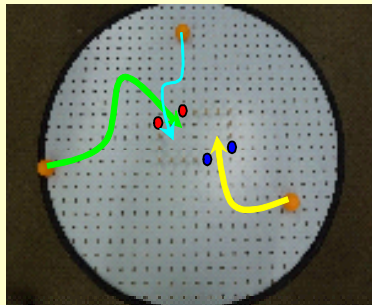
●脳の血流量測定結果

ゲーム開始時は白色の状態です。赤色になるほど前頭葉の血流量が増えていることがわかります。



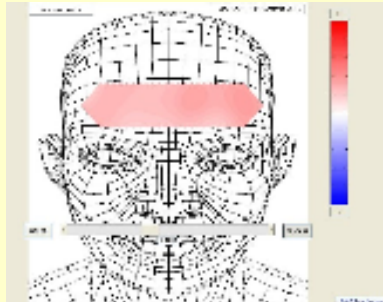
●玉入れゲーム

有孔ボード上にペグで枠を作り、2ヶ所だけペグを取り除いて入り口を作ります。ピンポン玉を1～3個使って全部が枠の中に入るまでの時間を競います。どんな形の枠にするかは自由に決められます。



●脳の血流量測定結果

ゲーム開始時は白色の状態です。赤色になるほど前頭葉の血流量が増えていることがわかります。



●遊び方の事例2に必要な道具

- ・ピンポン玉(別売)
- ・有孔ボード(別売)
- ・ペグ(別売)



使用上の注意事項

- ・ストッパーが外れた場合には、足や手をはさむ危険があります。ボードの上には、絶対に乗らないで下さい。
- ・使用の際には、周囲の安全を確認ください。ゲーム以外の目的に使用しないでください。ボードの表面を傷つける材質のボールは使用しないでください。
- ・足を使う場合には、感覚を大事にするため、靴を脱いで、厚手の靴下などを履いてお楽しみください。
- ・絵画の場合には、絵の具を使うので、汚れてもいい服でお楽しみください。また、床が汚れないようにブルーシート等を敷いてください。水溶性の絵の具以外は使わないでください。
- ・ご使用前とご使用後には、水で濡れた布などでボードの表面の汚れをふき取ってください。有機溶剤を使うとボード表面の塗装がはがれます。
- ・絵画の枠およびゲート(別売)には、磁石が使われていますので、心臓ペースメーカーなど医療機器の近くではお使いにならないでください。
- ・介護福祉施設・幼稚園・保育園でのご使用の場合には、必ず職員又はインストラクターの指導を受けながらお使いください。最適人数は6人まででお使いください。
- ・設置・運搬の際には、複数人数で行ってください。また、保管する場合に、壁などにたてかけると倒れる危険性があるので、ご注意ください。